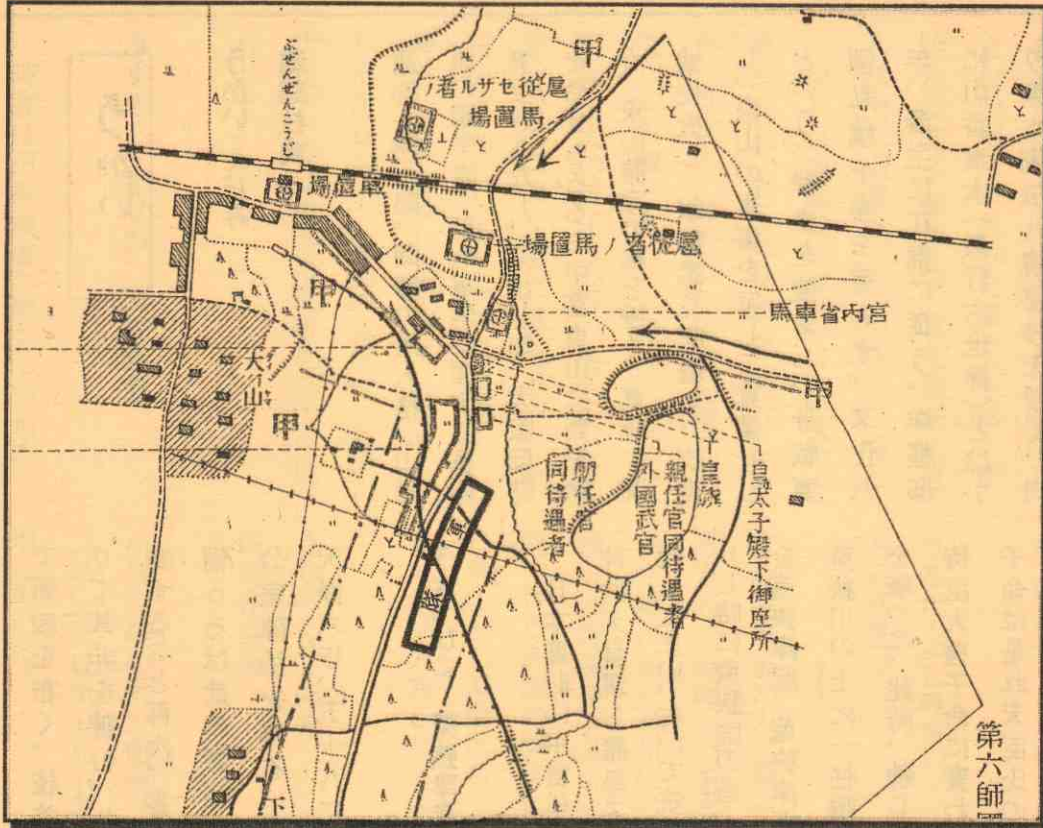


宇佐市民図書館 2004.10

郷土スペース月報

〒879-0453 大分県宇佐市上田1017-1 TEL.0978-33-4600 FAX.0978-33-4679
<http://www.usa-public-library.jp/>



目次

- ◆今月の表紙・大正九年特別大演習閱兵式陪観者心得及位置要図(部分)
- ◆大正九年特別大演習閱兵式陪観者心得及位置要図(冒頭)
- ◆龍膽・小野精一編「大分県人名辞典」本文編(29)
- ◆新着郷土資料目録・平成十六(二〇〇四)年【9月】

今月の表紙

大正九年特別大演習閱兵式陪観者心得及位置要図(部分)。特別大演習統監部発行。二色刷り。

4 2 1

大正九年特別大演習閱兵式陪観者
心得(抜粋)

- 第一、来ル十一月十一日午前十時ヨリ豊前善光寺―四日市―關道付近ニ於テ特別大演習閱兵式ヲ挙行セラル但シ当日雨天又ハ式場甚シク泥濘ノ場合ニハ行ハセラレス
 - 第二、左ニ掲クル者ハ閱兵式ノ陪観ヲ許サル
 - 一、陸海軍將校
 - 二、親任官、同待遇者及勅任官同待遇者
 - 三、貴衆兩院議長、同副議長、同議員―以上各家族
 - 四、有位、帶勲、有爵者―以上各家族、特ニ陪観をユ許サレタル外國武官及新聞通信員
- 以上ハ制服着用者及勲章佩用者以外ノ者ハ其資格ヲ表示スル名刺若クハ地方長官ノ発行スル陪観証ヲ持参スルを要ス

龍膽・小野精一編 大分県人名辞典 本文編 (29)

遺族から宇佐市に寄託された自筆原稿より、本文を順次紹介しています。
収録人名一覧は、No.7(2000.10)～No.14(2002.5)に連載しました。

うかい

うかい・えだみ
鶴飼枝美

通称・福三郎。岡藩の用人格、山鹿流の軍学者。苟も軍学に関する書渉胤せざるなし。文化八年、大阪邸誌を命ぜらるるや中富東山に贅を執る。東山諸家の秘を授く。寛政中岡城失火し、軍籍悉く灰燼す。枝美し、東山の軍書を写して寛備せしという。群書を搜索し、舟戦要領私稿十巻を著わす。文化八年、藩主に江都に従う。洋軽邸に山香素水(素行六世孫)とはかり素水家伝八規秘抄を授く。白河楽翁の請いにより、舟戦要領私稿の一部を上る。
藩主中川久貴横山甚助を擢ん

で新政を布く。枝美仁政録を上りて其非を諫む。久教立つや上書すること再次。嘗ていう不慮に備うるは武の善経なりと。以て公室陣法を作る。また脱せず。天保六年、五十八にて歿す。

うさつひこ 菟狭津彦 (直入郡誌)

日本書紀に甲寅年冬月朔辛酉、神武天皇親ら諸皇子を帥い、東征伐したまひ、行いて筑紫国菟狭に至りし時に菟狭国の造祖あり。其名を菟狭津彦、菟狭津姫という。乃ち菟狭川の上に一柱騰宮を造りて饗を奉った。此時、勅して菟狭津姫を侍臣大種子命に妻わし賜う。天種子命は是れ天臣氏の遠祖である、と。
古事記には日向を發し筑紫に幸し豊前宇沙に到るの時、土人の名は

宇沙都比古宇沙津比売の二人は一騰宮を作り大御饗を献り
うすき・あきはや 臼杵鑑速

鑑速は長景に次子で越中の守と称し、義鑑義鎮の二代に仕え、吉岡宗観と勉めて摩下の主輯に力めたので、諸家も之に服従し、大友氏が数国維持の力は全く全く此の二子の力である。天正二年に歿した。

うすき・これたか 臼杵惟隆

東鑑に曰く元暦元年正月、参州範頼が周防から赤間関に出て平家を攻めようとする時に糧食絶え船はなし。渡ることが出来ぬ。因らずも逗留数日に及んだ時に、豊後国の住人臼杵次郎惟隆、其弟緒方三郎惟栄は源氏に意ある由を聞き、因つ

て彼の兄弟を召した。すると正月二十六日、惟隆、惟栄兄弟参列の命に従い、八十二艘の兵戦を献じた。按ずるに臼杵といい、緒方という。各分領地を以て氏としたのである。
猶、案ずるに建久七年、大友能直が豊後に入ったが一向其兄弟の名が聞えぬ。其一族の大野泰基が独り拒いた。想うに其時はもう二子は年老いて且つ死んでいたらう。

(豊後国志)

うすき・これもり 臼杵惟盛

大神惟基の第五子。盛衰記に曰く、大弥太惟基の子に大弥治惟盛と
いうがある。惟盛の子に大六惟衡と
いうがある。惟衡の子を大七惟用と
いう云々。
(豊後国志)

うすき・せいがん 臼杵西願

西願俗姓は臼杵。大神朝臣惟基

五代の孫。臼杵次郎惟隆十六世の裔なり。諱は惟長興太夫と称す。大友親治に仕う。永正元年、津布佐莊尾立村の地二十八町を賜う。三年、親治及び其子義長共に大友義鑑に追われ出て国東郡小門年礼山に居る十年八月義鑑兵を發して之を攻む。親治義長奔て速見郡塚原村に至り、自殺す。惟長乃ち無常を觀じ入道して西願と称し、本願寺に投じ、宝如上人の弟子となり、居ること五年、旧邑に帰り尾立村中下に一淨利を営み上人賜う所の阿弥陀仏を奉安し、西福寺と云う。天文四年十月十四日寂す。惟長の後尾立を以て氏とす。寺は幾多の変遷を経て今猶存せり。

うすき・ときなお 臼杵時直

時直は戸次親直の第三子である。

応永五年、大友親世上洛の時、臼杵の地を時直に賜ん。臼杵館を監せしめたので臼杵を以て氏をなすことになった。

うちだ・よしみち

内田好道

安心院下市の人。健兵衛三男。恵良西宝寺で得度し、明治三十七年大谷光尊に従い満州に口教し、後、本願寺の庶保長となり、東京築地別院、神戸別院の輪番に仕し、宗学上の泰斗として推さる。大正九年、四十九才で入寂した(宇佐史論)。

うちみ・さくべえ

内海作兵衛

小笠原侯の大工頭領であった。承応三年に三川川より上水道を中津市中に引いた。

バックナンバーは、
郷土スペース(雑誌架)に
ファイルしています。
ご希望のかたには、
中央カウンター(そうだん)で
さしあげます。

新着郷土資料目録 平成16(2004)年【9月】

書名／人名／出版社／出版年(月)／請求記号／(備考)

- 地方自治BOOKSガイド2004年度-1／大分県立図書館／2004.6／A020オ／(寄贈)
- 収蔵史料目録1 -2002.3-／大分県立先哲料館／2002.3／A069オ／(寄贈)
- 収蔵史料目録2 -2004.3-／大分県立先哲史料館／2004.3／A069オ／(寄贈)
- 宇佐八幡と古代神鏡の謎／田村圓澄／戎光祥出版／2004／A157タ／(購入)
- 大分の古墳と神社／松尾則男／大分:東九企画／2004.9／A175マ／(寄贈)
- 惣町大帳 後編(15)[文政元年・同二年]／竹本弘文／中津惣町大帳刊行会
／2003.11／A211タ／(寄贈)
- 惣町大帳 第15輯[明和九年]／竹本弘文／中津惣町大帳刊行会
／2004.3／A211タ／(寄贈)
- 江口家の昔を偲びて 宇佐郡 院内町 高並／江口隼一／院内:江口隼一／2004.9／A288エ(寄贈)
- 宇佐市1980[住宅地図]／ゼンリン／1980／A291.4ウ／(寄贈)
- 中津市 下毛郡 1981[住宅地図]／1981／A291.4ナ／(寄贈)
- キャンプガイド(九州版)／山本博昭／広島:ケイ・ウエスト／2003.3／A291.9キ／(寄贈)
- 宇佐市議会定例会会議録 第三回 平成16年6月／宇佐市議会／2004.6／A314.5ウ(寄贈)
- 大分のむかし話 改訂新版／大分県小学校教育研究会／日本標準
／1989／A388オ／(寄贈)
- 日本の戦争遺跡／戦争遺跡保存全国ネットワーク／平凡社／2004／A390セ／(購入)
- 雲の墓標 画文集／川崎春彦／アート・プロデュース／1984.4／A723カ／(寄贈)
- 刻／北川栄一／アート・プロデュース／1984.4／A723カ／(寄贈)
- 相撲部 栄光のあゆみ／大分県立宇佐産業科学高等学校／2004.3／A788ウ／(寄贈・複本)
- 秋風庵二十五歌仙 全／熊埜御堂末次郎／宇佐:熊埜御堂達／2004.7／A911.1ク／(寄贈)
- 秋風庵四十歌仙 全／熊埜御堂末次郎／宇佐:熊埜御堂達／2004.7／A911.1ク／(寄贈)
- 花の夢見／熊埜御堂末次郎／宇佐:熊埜御堂達／2003.9／A911.3-／(寄贈)
- 横光利一俳句大会入選作品集 第5回／宇佐市民図書館／2003.11／A911.3ウ／(寄贈)
- 横光利一俳句大会入選作品集 第6回／宇佐市民図書館／2004.10／A911.3ウ／(寄贈)
- 珊瑚のピン／北里蓉子／近代文藝社／2004／A914キ／(寄贈)
- 絆-ともに生かされて-／甲斐幸子／宇佐:甲斐幸子／2004.8／A916カ／(寄贈・複本)
- カミカゼの真実／須崎勝彌／光人社／2004／A916ス／(寄贈)